

雑草及び藻類の初期発生対策に！



水稲用初期除草剤

クリアホープ[®]フロアブル

●ペントキサゾン…4.0%
●ACN…18.0%



藻類・表層はく離に困っていませんか？

- 問題1**
田面水温の低下
- 問題2**
水稲苗の倒伏、浮き苗
- 問題3**
肥料、農薬の収奪
- 問題4**
薬剤の拡散不良

水田内の問題雑草＋藻類の発生を抑える水稲用初期剤

特長

- 幅広い殺草スペクトラム**
移植前・後の使用で、ノビエ、コナギ、アゼナ類、マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカ、藻類・表層はく離等、各種水田雑草の初期発生を抑えることができます。
- 藻類・表層はく離に卓効、速効的**
藻類・表層はく離に卓効を示すとともに、極めて速効的に藻類を褐変・枯殺します。
- 水中拡散性に優れる**
ACNを含有する初めてのフロアブル剤で、水中拡散性に優れます。
- SU抵抗性雑草に有効**
コナギ、アゼナ類、ホタルイ等のSU抵抗性雑草に高い効果を示します。

適用雑草と使用方法

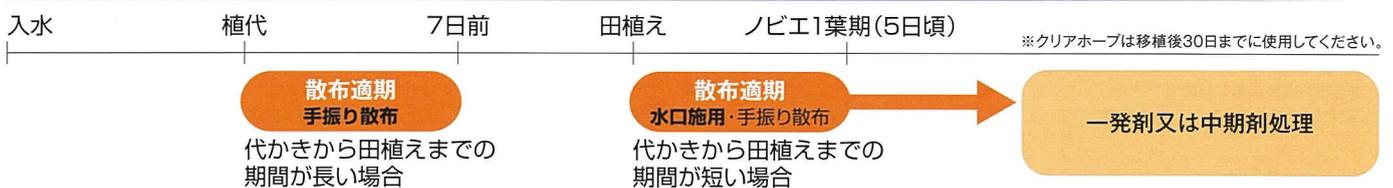
作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草、及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類による表層はく離	植代後～移植前7日又は 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	500ml	原液湛水散布 又は水口施用
		移植時		田植同時散布機で施用



本剤のみを使用する場合の使用回数	1回	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	2回以内	ACNを含む農薬の総使用回数	3回以内
------------------	----	--------------------	------	----------------	------

上手な使い方

○本剤は衣服等への付着が目立つため、かからないよう風向き等に注意して散布して下さい。



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8

®は科研製薬(株)の登録商標

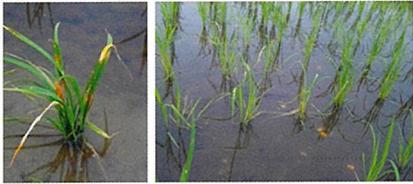
使用上のポイント



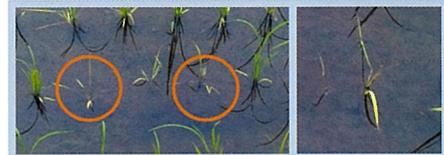
①手振り散布の注意点

製剤の付着が引き起こす症状

稲への付着性が高いため、**薬剤が葉につくと、薬剤付着部分より先端部において褐変症状を起こす可能性があります。**



付着試験例



株全面にかかる欠株を起こす恐れがあります。

症状の進行は？

外葉は枯れることもありますが、**新葉には影響がなく徐々に回復するため、収穫量には影響しません。**



過年度の委託試験結果では生育や収穫量に影響は認められていません。

②オススメ防除法(水口施用)

水口施用の方法

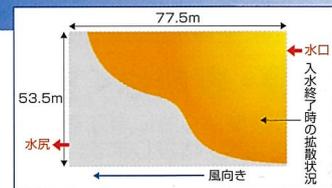
- ① 処理時の水深は1~3cm程度にしておきます。
- ② 内蓋をとり、水口部分からの水の流入にあわせて、30秒~1分程度かけてゆっくり流しこみます。
- ③ 処理後、給水は5~6cm程度の湛水深になるように調整します。
- ④ 処理後は通常の水管理を行ってください。

- 薬剤を流す時は、水口部分から30~50cmの高さを保ってゆっくり流すようにしてください。
- モグラの穴に気をつけてください。

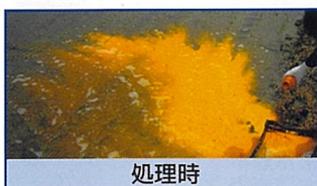


試験例(水口施用)

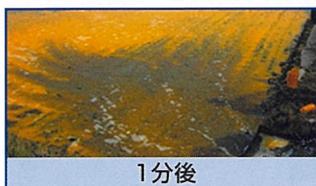
試験場所：新潟県新潟市 処理薬剤：クリアホープFL 処理時期：移植後5日(雑草発生前)
 試験規模：40a 処理薬量：500ml/10a 入水時間：2時間
 供試作物：水稻(品種：越路早生) 処理方法：水口施用 散布日：平成18年5月8日



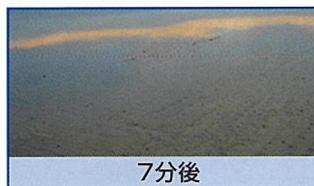
試験結果 ● 田面に均一に拡散した。 ● 雑草の発生は見られなかった。



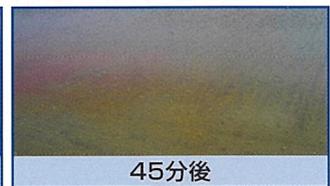
処理時



1分後



7分後



45分後

③その他

その他の製剤特性と注意点

オレンジ色のため付着が目立ちます。

- ① 散布時に衣服や靴に薬剤がかからないように注意しましょう。



残渣(キャリア)が溶け残ることがあります。

- ② 残渣(キャリア)が溶け残ることがありますが、有効成分は拡散しているので心配ありません。



●ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空ピンは圃場等に放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水は圃場等で使用してください。●本剤は衣服等への付着が目立つため、注意して散布してください。



科研製薬株式会社
 東京都文京区本駒込2丁目28-8
<http://www.kaken.co.jp/>